

≪ 竜王町の将来人口フレームについて ≫

あなた自身への影響

子・孫世代が町外へ。自分の代以降は空き家になる。

- 子どもは町外を行き来、孫は八幡。自宅は空き家に。
- 自分は実家にいても次の世代が出て、結局空き家に。
- 家も将来的には空家になる可能性が高い。

高齢化が進み、税収減や行政サービス低下、地域の担い手不足など、暮らしづらくなる。

- 確実に高齢化が進み、生活への不安が高まる。（移動や購買・医療機関への足など）
- 税収減からの補助（バス通学等）がなくなる
- 自治会、PTA 等の役が回ってくる頻度が多くなる

まち・地域への影響

コミュニティの維持が困難に。地域の活力が低下する。

- コミュニティの維持が困難となる。
- 自治会の役職等の一人当たり負担増。
- コミュニティ（自治会活動）（衰退）
- 地域の活力の低下。

農商工が衰退し、買い物する場所、働く場所がなくなり、さらに人口減少が加速する。

- 商業・地場産業（農・工）の衰退
- 地場産業の衰退
- 商店が売り上げ減で廃業
- 労働世代減少による税収減

活力や安心な暮らしを維持するには
地域コミュニティを維持できる人口規模・年齢構成の確保が必要

≪ 10 年後の竜王町の人口フレーム考え方 ≫

- 人口減少は避けられない中で、減少幅（スピード）を抑えつつ、若い世代（支える世代）の確保によるバランスの良い年齢構成の維持を図る。

≪ 上記の考え方に基づく人口フレーム（案） ≫

- ①定住人口（夜間人口）2030 年●人、2040 年以降●人
- ②生産年齢人口（支える世代）の割合 2030 年●%

≪ 竜王町の特徴 ≫

- A 出身者、他出家族^{※1}：4 割の世帯で他出家族員が月 1 回以上帰省
- B 昼間人口^{※2}：17,264 人（定住人口 12,434 人）
- C 観光入込客数^{※3}：1,604,300 人（R1）
 ≪道の駅竜王かがみの里 628,800、道の駅アグリパーク竜王 509,000≫

※1 他出家族：進学、就職、結婚などで地元を離れた方々

※2 昼間人口：定住人口（夜間人口）に他地域から通勤してくる人口を足し、他地域へ通勤・通学する人口を引いたもの。

※3 観光入込客数：観光地点を訪れた観光客をカウントした値。観光入込客には含まないが、三井アウトレットパーク滋賀竜王には年間 500～600 万人が来場

① 定住人口の減少抑制のために

- 住まいの受け皿確保（住宅用地の確保、空き家の利活用）
- 希望する人が結婚しやすくなるための支援
- Uターン促進、まちへの愛着醸成

② 生産年齢人口割合の維持のために

- 若者が定住しやすい環境づくり（安全性・利便性の向上）
- 時代に合わせた地域コミュニティづくり
- 竜王町での暮らしの魅力 P R